



希望を語ろう！

< 本田ガバナ一年度地区スローガン >



国際ロータリー第2840地区

2013－2014年度

地区委員長 年間活動報告

地区研修委員長

地区戦略計画委員長

ロータリーの友地区代表委員

ロータリー財団委員長

資金推進・年次寄付等委員長

補助金委員長

地区補助金委員長

グローバル補助金委員長

資金管理委員長

ポリオプラス委員長

職業研修チーム委員長

奨学金・学友・ローター平和フェローシップ委員長

会員組織強化委員長

公共イメージ(ワッツ・シブニ)委員長

青少年交換委員長

インターアクト委員長

ローターアクト委員長

R Y L A 委員長

国際奉仕委員長

米山記念奨学委員長

曾我 隆一

清 章司

町田 庄吉

牛久保哲男

北野浩司郎

森田 高史

下井田秀一

大島 秀夫

藤丸 兼一

川口 修平

豊川 一男

中繁 基

牛久保哲男

佐藤 修

前原 信之

高井 和雄

井上 智太

中村 研司

宮下 隆志

田中 久夫

地区研修委員会 活動報告

委員長	パストガバナー	曾我 隆一 (前 橋)
(地区研修リーダー)		
副委員長	パストガバナー	横山 公一 (沼 田)
委員		竹内 正幸 (太 田)
委員		大島 雅彰 (富岡中央)
委員		佐藤 修 (高崎南)
委員		松島 宏明 (桐 生)
委員		生方 彰 (沼田中央)
地区担当副幹事		温井 尚久 (前 橋)

地区研修委員会は地区リーダーシップ・フラン(DLP)に沿って、本田ガバナー並びにロン・バートン RI 会長の方針を地区のロータリーアンに徹底し、理解を得て、それぞれの**クラブが元気**になるように各種セミナーの企画・開催を終始心がけた一年間でありました。安藤年度から始まり、本田年度で3年目を迎えた RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)も初期の目的であるクラブ会長エレクト・次期幹事を参加者対象として DL(ディスカッション・リーダー)の充実をしながら、一段の質的向上を図ることが出来ました。更に、次の竹内年度に於いても改善しながら実施していくべきです。

以下、主だったセミナーと所感を述べます。

1. 1回ガバナー補佐会議(ヘルシーパル赤城) 2012,年10月26-27日
例年より早く開催、ガバナー・エレクトの意気込みの強さを片腕の G 補佐の方々に印象づけられました。
2. ガバナー補佐・地区委員長合同会議(前橋商工会議所) 2012年12月 1日
3. 地区チーム研修セミナー(前橋商工会議所) 2013年2月10日
ガバナーエレクトの国際協議会から得た鮮度の高い情熱と情報を最初に地区のチームに伝え、感動とモチベーションの高揚が共有できました。
4. 会長エレクト・次期幹事研修セミナー(伊香保・福一) 2013年3月16-17日
本田年度スローガン「希望を語ろう」は、2011.3.11 の東日本大震災を経験し、昨日の続きが、必ずしも今日に、明日になること保障されないことを自覚。今日生かされている「命」を精一杯生きよう。大切なことは先を見通せること、希望を見いだせれば、「折れた心」を取り戻せるし、人は前向きになってくる。との本田ガバナーの人生観の変化が「希望を語ろう」のスローガンを生み出したのでしょうか。
5. 地区協議会(前橋商工会議所) 5月12日
ホストの前橋南 RC、コ・ホストの前橋北 RC の皆様に大変お世話になりました。
6. 地区会員増強セミナー(前橋問屋町センター会館) 5月26日
基調講演として、牛久保 PDG、井上 RI 第一ゾーン公共イメージ・コーディネーター。分科会では各クラブの会員増強の現状と課題について討論しました。
6. 前述の RLI については、
パートⅠ 9月22日 パートⅡ 11月10日 パートⅢ 12月8日
7. 指導者育成セミナー(前橋商工会議所) 10月26日 講師には、RI 会長代理の江崎柳節氏「クラブを元気にしよう!」をテーマに基調講演を頂きました。

地区戦略計画委員会 活動報告

委員長	パストガバナー	清	章司 (藤 岡)
委員	直前ガバナー	疋田	博之 (桐 生)
委員	ガバナー	本田	博己 (前 橋)
委員	ガバナーエレクト	竹内	正幸 (太 田)
委員	ガバナーノミニー	生方	彰 (沼田中央)
地区担当副幹事		長谷	浩克 (前 橋)

ロータリーは100周年を迎えるに当たり2002～2003年度から将来の方向を定めるために未来を見つめる長期委員会を発足した。2011年から戦略計画と呼び名を変更しよりアクティブな活動をすることに方向性を定めた。今年度(本田年度)の地区大会では3カ年計画として決議採択され、その初年度として「クラブを元気にしよう」というサブタイトルのもとに国際ロータリーの戦略計画を踏まえクラブにおける戦略計画の策定と推進を奨励、支援するとともに地区として以下の目標を設定して活力と活気に満ちたクラブ作りにクラブと共に果敢に挑戦してきた。

2013～16年度3カ年地区戦略計画

- *会員増強 ・地区全体で2000人台の会員数に回復させる。・地区内全クラブで純増を果たす。
- *未来の夢計画 ・地区の全クラブが地区補助金対策事業を申請する。・毎年3クラブ以上がグローバル補助金を申請する。
- *寄付目標 ・ロータリー財団年次寄付一人当たり150ドル以上・ポリオプラス寄付一人当たり20ドル以上・米山奨学会一人当たり16000円以上
- *ロータリー研修・地区およびクラブはロータリー研修の強化、充実を推進する。クラブはRLIセミナーに積極的に参加する。
- *公共イメージ ・クラブの地域に対する発信を活発化し、クラブの存在価値を高める奉仕プロジェクトを積極的に開発、推進する。
- *青少年奉仕 ・青少年奉仕のRI常設プログラムを充実させるとともに「子供の未来を育む」活動を推進する。
- *奉仕の理念 ・ロータリーの目的である「奉仕の理想の奨励、育成」をロータリアンとしてまたクラブとして実践する。

ロータリーの戦略計画はロータリーが現在どういう状況にあり今後どういう方向にどのように進むのかを明確にする手段です。それと同時に創立以来変わることないロータリアンの目標とする優先事項をロータリアンが忘れないようにするためのものでもあります。1905年にポールハリスがロータリーを創立して以来多くの変化が起きました。しかし自分の犠牲を払っても人の為になるというロータリーの精神、そしてロータリーの中核的価値観(親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ)は変わっておらず今後も変わることはありません。ロータリーの戦略計画は私達が「ロータリーを実践しみんなと豊かな人生を」もたらすための一つの手段でもあります。ロン・バートン会長の言葉を借りて報告いたします。

ロータリーの友地区代表委員 活動報告

2840 地区ロータリーの友地区代表委員 町田庄吉（前橋西 RC）

2013 年 5 月 20 日（月）メルパルク東京から 34 地区ガバナー、ロータリーの友地区代表委員の新(2013-2014 年度)と旧(2012-2013 年度)が一堂に集まり 2013-2014 年度オリエンテーションが開催。各地区代表委員との意見交換や積極的な投稿要請等があり、スタートとなりました。

（2010 年 3 月に「ロータリーの友事務所」が法人化となり編集委員会のメンバーの一員として直接的に監督することが出来るようにしたとの説明があり地区代表委員はこれまでの地区と「ロータリーの友」誌の編集部との情報交換や取材協力だけでなく地区ガバナーの代理として編集委員会における議論やゾーン別会議などを通じて「ロータリーの友」誌の編集発行に意見を述べる事が可能となったとの事。それにより毎号良く熟読し、編集内容、記事のバランスや地区の状況を踏まえレポートを提出することが義務づけられた。）

1. ロータリーの友地区代表委員会

2013. 5. 20	次期地区代表委員オリエンテーション	（メルパルク東京）
2013. 7. 1	地区代表委員合同会議	（プリンスホテル高輪）
2013. 9. 21	地区代表委員合同会議	（メルパルク東京）
2014. 2. 10	地区代表委員ゾーン会議	（メルパルク東京）
2014. 3. 17	地区代表委員合同会議	（メルパルク東京）
2014. 7. 1	地区代表委員合同会議	（プリンスホテル高輪）

2. 「ロータリーの友」誌、毎月のレポート提出

ロータリーの友事務所に 7 月号より毎号編集について、掲載記事についての感想、取り上げてもらいたい記事等、レポート提出を行う。

3. 掲載 「ロータリーの友」2014 年 1 月号

第 2840 地区 地区大会の紹介文と写真（アルバム）の提出。

写真は 10 月 26 日の地区指導者セミナー～27 日の本会議までを撮影。

掲載 「ロータリーの友」2014 年 6 月号

地区代表委員ゾーン会議にて、我が第 2840 地区には世界遺産登録で頑張っているロータリークラブがある旨を提案。のち採用の通知を受け富岡中央 RC を紹介。

4. 「ロータリーの友」誌 卓話

2014 年 4 月 4 日 桐生西 RC

2014 年 4 月 22 日 富岡かぶら RC

ロータリー財団委員会 活動報告

委員長 牛久保哲男（伊勢崎）
アドバイザー 高木貞一郎（館 林）
副委員長 伊能 富雄（伊勢崎）
担当副幹事 鴻田 敦（前 橋）
担当副幹事 星野 大輔（前 橋）

2013-14 年度の財団活動についての総括は下記のようになっております。
まず、今年度のロータリー財団委員会の最大の事業は「2840 地区財団ハンドブック」を作成できたことです。これによってロータリー財団の組織、活動、そして「未来の夢計画」に対する基礎知識や、補助金申請等の具体的な手続きをご理解できたものと思っております。

次に財団の具体的な活動実績について報告いたします。

数値目標：年次基金 1 人当たり 150 ドルについては 6 月 10 日現在 130 ドルです。今後 6 月末までにはさらに実績は上積みされるものと思われます。しかし、残念なのは年次寄付ゼロクラブが 5 クラブあり、年度末までに少しでも寄付されることを期待しております。

地区補助金に関しては 2013-14 年度が「未来の夢計画」の初めての「実施年度」でした。34 クラブの申請のうち 33 クラブが事業の実施が終了し報告書が提出済みになっており、6 月末までは 34 クラブの全てが終了の見込みです。また、2014-15 年度の申請は 33 クラブで 32 件の申請が終了し、財団管理委員会への申請が完了になりました。

2014 年 6 月 10 日現在

地区補助金実績

年度	申請クラブ数	実施クラブ数	報告書提出クラブ数	クラブ拠出金 (千円)	地区補助金申請額 (千円)	事業総額 (千円)
2013-14 年度	34	33	33	7,405	6,253	13,658
2014-15 年度	33	—	—	5,402	5,135	10,537

以上のように 2840 地区のロータリー財団を通じての社会奉仕活動は 10,000,000 円を超える大事業を実施していることを会員皆さんはご理解の上、財団活動のさらなるご協力をお願いいたします。

また、グローバル補助金については前橋 RC、沼田 RC、沼田中央 RC から 3 件の申請があり、いずれも承認されプロジェクトの推進中ですが前橋 RC に関しては事業完了し報告書の作成に入っております。今年度の申請が現在までなく、地区としての今後の課題として新企画での活動を計画しております。詳細は補助金委員会の報告書を閲覧してください。

このように「未来の夢計画」は順調に推移しており、各クラブの財団活動の積極的な取り組みを期待しております。

資金推進、年次寄付、恒久基金・年次寄付委員会 活動

報告

委員長	北野浩司郎(沼田中央)
委員	北爪 國平(前橋中央)
委員	星野 榮助(桐生赤城)
委員	久保 勲 (伊勢崎中央)
委員	浅田 千秋(高崎北)
委員	五十嵐敏明(太田西)
委員	大越 正禎(館林西)
委員	町田 久 (渋川)
委員	荻野 勝美(富岡)
担当副幹事	鴻田 敦(前橋)
担当副幹事	星野 大輔(前橋)

本年度は「ロータリー財団の夢計画」に対する準備期間も終わり、本格的に取り組む年度になりました。地区補助金の申請も33クラブ(32申請)に達し、夢計画もようやく地について来た感じが致します。

資金推進委員会としても当初掲げた1人当たり150ドルの年次寄付の目標も年度末には145.58ドルに達し、ほぼ目標寄付を頂くことができました。

加えて、第2840地区で大口寄付者(10,000ドル)を3~4名はお願いしたいと目標を立てましたが、幸いにも4名の方がそれに応えてくださいました。この4名の方々を年次大会に於いて表彰していただきたいと思っております。

しかし、恒久基金であるベネファクター(1,000ドル)を各クラブで1名以上お願いしたいと申し上げましたが残念ながら12クラブしか達成出来ませんでした。

世界で良いことをしようというスローガンの下ロータリー財団が尚一層充実出来ますようロータリアンの御理解と御協力をお願い申し上げます。

地区補助金委員会 活動報告

委員長 下井田秀一（桐生西）
委員 佐藤 信一（前橋東）
委員 布施 光一（群馬境）
委員 室賀 康志（高崎北）
委員 渋澤 誠（太田）
委員 宮内 敦夫（館林）
委員 今井 幸吉（沼田）
委員 山田 利和（富岡かぶら）

担当副幹事 長谷 浩克（前橋）
担当副幹事 温井 尚久（前橋）
担当副幹事 小林 幹昌（前橋）

1、地区補助金（本年度計画・次年度実施）

- (1) 申請件数 33件（申請クラブ数 34クラブ）
(2) 申請総額 5,171,179円
補助金決定総額 7,098,894円※

※「地区補助金予算を余さず使い切る」という方針で各申請書に対して、各クラブの2011～12年度1人当り年次寄付実績を考慮に入れながら一定の計算式で増額となりました。

別紙 2014～15年度地区補助金申請一覧をご参照下さい。

2、委員会（審査会）活動経過

開催日	内容	場所	備考
2013年 8月 3日	ロータリー財団セミナー	伊勢崎プリオパレス	報告の実務・計画立案の注意点について説明
11月16日	補助金管理セミナー	前橋商工会議所	申請書記入の注意点について説明
2014年 1月18日	第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス	
3月29日	第2回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス	
4月26日	地区補助金最終審査会	前橋問屋センター	

2014-15実施年度(2013-14計画年度) 地区補助金申請一覧表 (33クラブ32申請)

分 区	NO.	クラブ	実施日	事業名	11-12年 年次寄付 クラブ総額/\$	11-12年1人 当たりの 年次寄付額/\$	貢献度	補正 貢献度 0.8~1.2	クラブ 拠出金 円	補助金 申請額 円	その他 円	事業額 円	補助金 算 出額 円	補正額 \$	補助金 原案 \$	決定補助金 \$	地区補助金 委員会 担当者
第1分 区	1	前橋	2014年7月1日～7月31日	「自立援助ホーム ぐんま風の家」支援プロジェクト	35,941.14	332.79	2.55	1.20	283,534	280,000		563,534	466,151		4,570	4,570	佐藤 信一
	2	前橋西	2014年7月1日～2015年6月30日	前橋西ロータリー文庫	6,092.00	105.03	0.81	0.81	300,000	300,000		600,000	337,127		3,305	3,305	
	3	前橋東	2014年10月1日～11月1日	子供が輝く冒険遊び場 夢の実現	7,230.34	111.24	0.85	0.85	101,852	100,000		201,852	117,925		1,156	1,156	
	4	前橋北	2014年7月1日	アーツ前橋とのオーサービジット事業	7,928.71	132.15	1.01	1.01	150,000	150,000		300,000	210,184		2,061	2,061	
	5	前橋南	2015年1月20日～2月20日	ロータリー文庫寄贈	4,230.93	145.89	1.12	1.12	204,732	200,000		404,732	310,768		3,047	3,047	
	6	前橋中央	2014年10月12日～10月26日	「主体変容」前橋市立保育所保護者会と子ども達を支援する事業	3,933.00	119.18	0.91	0.91	102,551	102,551		205,102	129,470		1,269	1,269	
第2分 区A	7	桐生	2014年8月1日～2015年6月30日	キノビー(桐生市マスコット着ぐるみ)桐生PR作戦	8,675.00	135.55	1.04	1.04	199,800	199,800		399,600	288,281		2,826	2,826	下井田 秀一
	8	桐生南	2014年7月1日～2015年6月30日	幼児の為の音楽教育	2,300.00	95.83	0.74	0.80	100,000	100,000		200,000	110,988		1,088	1,088	
	9	桐生西	2014年8月1日～8月31日	はーとふるチハヤ支援プロジェクト	6,263.00	133.26	1.02	1.02	132,500	130,000		262,500	183,963		1,804	1,804	
	10	桐生中央	2014年7月1日～8月31日	自閉症の支援	5,227.00	217.79	1.67	1.20	80,000	80,000		160,000	133,186		1,306	1,306	
	11	桐生赤城	2014年9月9日	老人福祉施設に対するロボペット寄贈	4,730.00	115.37	0.88	0.88	70,500	70,201		140,701	85,706		840	840	
第2分 区B	12	伊勢崎	2014年7月1日～8月31日	東日本大震災復興支援 福島の子供に笑顔を 橋本町立橋本中学校運動用品備品等寄贈事業	12,111.56	175.53	1.35	1.20	171,020	160,000		331,020	266,372		2,611	2,611	原 邦 昭
	13	群馬境	2014年7月1日～7月31日	「世界遺産観光めぐり用レンタル自転車」の寄贈	6,199.89	193.75	1.49	1.20	188,680	188,680		377,360	314,119		3,080	3,080	
	14	伊勢崎中央	2014年9月1日～9月30日	社会福祉法人の作業環境整備	5,000.00	78.13	0.60	0.80	209,500	200,000		409,500	221,977		2,176	2,176	
	15	伊勢崎南			2,344.83	83.74	0.64	0.80				0	0		0	0	
	16	伊勢崎東	2014年8月1日～10月31日	フィリピンラグナ州サンペドロ市地区小学校(3校)への水道水浄化装置寄贈プロジェクト	2,533.25	81.72	0.63	0.80	153,051	142,600	10,400	306,051	158,269		1,552	1,552	
第3分 区	17	高崎	2014年10月1日～2015年3月31日	障害のある学生への修学支援事業	6,845.00	105.31	0.81	0.81	65,150	65,000		130,150	73,044		716	716	室賀 康志
	18	高崎南			7,329.85	116.35	0.89	0.89				0	0		0	0	
	19	高崎北	2014年7月1日～2015年6月30日	東日本大震災の被災地出身大学生奨学金支援	8,882.00	143.26	1.10	1.10	240,000	240,000		480,000	366,262		3,591	3,591	
	20	高崎東	2014年7月1日～2015年6月30日	夢プロジェクト	3,807.99	100.21	0.77	0.80	177,857	177,856		355,713	197,400		1,935	1,935	
	21	高崎シンフォニー	2015年5月23日	児童養護施設(希望館)調理体験BBQ親睦大会の主催	7,350.00	198.65	1.52	1.20	138,076	138,075		276,151	229,871		2,254	2,254	
	22	高崎セントラル			5,300.00	160.61	1.23	1.20				0	0		0	0	
第4分 区A	23	太田	2014年7月1日～9月30日	金山清掃支援事業	10,149.00	158.58	1.22	1.20	250,000	250,000		500,000	416,207		4,080	4,080	渋澤 誠
	24	太田西			900.00	42.86	0.33	0.80				0	0		0	0	
	25	太田南			4,426.28	100.60	0.77	0.80				0	0		0	0	
	26	新田			2,700.00	100.00	0.77	0.80				0	0		0	0	
	27	太田中央			3,825.00	91.07	0.70	0.80				0	0		0	0	
第4分 区B	28	館林	2014年7月1日～9月30日	心身障がい者福祉施設 社会福祉法人館邑会「ういず」支援事業	5,420.00	115.32	0.88	0.88	138,274	138,000		276,274	168,480		1,652	1,652	宮内 敦夫
	29	大泉	2014年8月23日～8月24日	大泉ロータリー・フカヤ杯サッカー大会	2,750.00	98.21	0.75	0.80	106,550	100,000		206,550	110,988		1,088	1,088	
	30	館林西	2014年7月20日～8月25日の間	青少年野外教育事業	2,720.00	151.11	1.16	1.16	202,877	200,000		402,877	321,866		3,156	3,156	
	31	館林東			6,282.05	251.28	1.93	1.20				0	0		0	0	
	32	館林ミレニアム			2,500.00	104.17	0.80	0.80				0	0		0	0	
第5分 区	33	渋川	2014年12月5日～2015年2月22日	命の輝きプロジェクト	12,608.72	237.90	1.82	1.20	479,616	479,616		959,232	798,477		7,828	7,828	今井 幸吉
	34	沼田			13,767.00	241.53	1.85	1.20				0	0		0	0	
	35	草津			2,500.00	119.05	0.91	0.91				0	0		0	0	
	36	みなかみ					0.00	0.00				0	0		0	0	
	37	中之条	2014年10月	名久田小学校「学校寄席」	1,300.00	56.52	0.43	0.80	50,000	50,000		100,000	55,494		544	544	
	38	沼田中央	2014年7月1日～2014年12月15日	大根収穫体験教室及び沼田大好きふるさと学習	5,500.00	103.77	0.80	0.80	177,395	177,395		354,790	196,888		1,930	1,930	
	39	渋川みどり	2014年7月14日～7月16日	豊秋小学校 遊具設置プロジェクト	4,951.12	115.14	0.88	0.88	156,720	150,000		306,720	183,131		1,795	1,795	
第6分 区	40	富岡	2014年8月1日～2015年5月31日	富岡市福祉作業所「つくし学園」支援事業	6,800.00	147.83	1.13	1.13	68,500	68,500		137,000	107,388		1,053	1,053	山田 利和
	41	藤岡			5,500.00	125.00	0.96	0.96				0	0		0	0	
	42	安中	2014年7月1日～8月30日	碓氷湖畔への丸太ベンチ設置事業 ※安中・碓氷安中合同事業	2,900.00	111.54	0.86	0.80	53,050	106,100		159,150	117,759		1,155	1,155	
	43	藤岡北			1,000.00	58.82	0.45	0.80				0	0		0	0	
	44	富岡中央	2014年7月1日～8月31日	児童養護施設こはるび環境整備事業	4,451.22	108.57	0.83	0.83	87,480	87,480		174,960	100,734		988	988	
	45	碓氷安中	2014年7月1日～8月30日	碓氷湖畔への丸太ベンチ設置事業 ※安中・碓氷安中合同事業	1,100.00	73.33	0.56	0.80	53,050			53,050	0		0	0	
	46	藤岡南	2014年7月27日～8月10日	藤岡市指定天然記念物ヤリタナゴ・マツカサゴイ・ホトケドジョウの保護調査	1,500.00	100.00	0.77	0.80	133,364	130,000		263,364	144,285		1,415	1,415	
	47	富岡かぶら	2014年8月1日～9月30日	富岡製糸場 桑ノ木鉢おもてなしプロジェクト	2,900.00	103.57	0.79	0.80	155,000	155,000		310,000	172,032		1,687	1,687	
				平均	5,841.43	130.37		合計	5,180,679	5,116,854	10,400	10,307,933	7,094,792	0	69,557	69,557	

補助金総予算 = 7,098,894

3月ロータリーレート 1\$=102円で計算

I 補助金予算額 69,597ドル×102円=7,098,894円 (3月ロータリーレート)

II. 補助金算出計算式

補助金 = 補助金申請額 × 地区補助金配分率 ※1) × 寄付貢献度 ※2)

※1) 地区補助金配分率 = $\frac{\text{補助金予算 (円)}}{\text{申請補助金総額}}$ = $\frac{7,098,894}{5,134,868}$ ≒ 1.382488

※2) 寄付貢献度 = $\frac{\text{該当クラブの1人当たりの年次寄付額 (\$)}}{\text{1人当り年次寄付の地区平均額 (\$)}}$ $\left(\begin{array}{l} \text{上限 1.2} \\ \text{下限 0.8} \end{array} \right)$

グローバル補助金委員会 活動報告

委員長	大島 秀夫	(前橋北)			
委員	石川 直美	(前橋中央)			
委員	家住 慧路	(桐生西)			
委員	宮田 正枝	(高崎シフォニー)			
委員	落合 重男	(太田)			
委員	多田 善洋	(館林)	担当副幹事	長谷 浩克	(前橋)
委員	田辺 寛治	(渋川みどり)	担当副幹事	温井 尚久	(前橋)
委員	伊原喜久雄	(富岡中央)	担当副幹事	小林 幹昌	(前橋)

グローバル補助金委員会は、前年度申請審査済みの前橋ロータリークラブ・沼田ロータリークラブの事業実施の確認と、今年度申請の沼田中央ロータリークラブの審査並びに事業実施の確認を行いました。

しかしながら、現実には一年目は2件、2,900ドル、二年目は1件、4,000ドルの申請のみにとどまっております。

従って現状においては、クラブからの申請を要請しているだけでは毎年70,000ドル程度ある予算を有効活用することは困難だと思います。

このような現状の中で、当グローバル補助金委員会としては、補助金予算をより有効活用する事が出来ないものかと考えた結果、地区としてグローバル補助金活用事業を実施すべくまずは、グローバル補助金活用プロジェクトチームを立ち上げ、「拠出金総額の内、少なくとも30パーセントがプロジェクト実施国・実施地区以外から寄せられたものでなければならない」という制約に着目し、特に東日本震災復興地区に限定して事業化の模索をしていく企画を立てました。

今後このプロジェクトをチーム一丸となり実現できるように、研究し努力して行きたいと思います。

I. 2012-2013年度 グローバル補助金申請実績表

前橋ロータリークラブ グローバル補助金 (DDF申請)実績					
[事業概要]			(単位:USドル)		
申請日	事業内容			審査結果通知日	
2013.1.25	モンゴル国立健康科学大学 (HSUM) に理学療法学習に必要な器具・器材を寄贈し理学療法士を養成する。			NO. GG1413488	
				2013.4.26	
実施期間	実施国	事業総額	クラブ拠出金	DDF利用限度額	WF補助金
補助金受領日より90日間	モンゴル	37,152	11,435	10,000	15,717
[プロジェクト収入予算]					
(単位:USドル)					
	クラブ名・地区名	クラブ拠出金 (現金)	地区拠出金 (DDF)	国際ロータリー財団 拠出金 (W F)	合計
ホストパートナー (実施国)	バヤンツルク100	0	0	0	0
インターナショナル パートナー (援助国)	前橋クラブ	11,435		5,717	17,152
	2840地区		10,000	10,000	20,000
合計		11,435	10,000	15,717	37,152

沼田ロータリークラブ グローバル補助金 (DDF申請)実績					
[事業概要]			(単位:USドル)		
申請日	事業内容			審査結果通知日	
2013.3.3	ダッカ市内の国立病院へWi-Fiによる遠隔医療のシステムと、市内3カ所の病院へ端末機器を寄贈し、ヒ素濃度の高い飲料水と疾病の関係のデータを収集し、ヒ素撲滅のモデル地区を目指す。			NO. GG1411381	
				2013.5.20	
実施期間	実施国	事業総額	クラブ拠出金	DDF利用限度額	WF補助金
2013.7.1~2018.6.30	バングラディシュ	48,546	6,000	19,773	22,773
[プロジェクト収入予算]					
(単位:USドル)					
	クラブ名・地区名	クラブ拠出金 (現金)	地区拠出金 (DDF)	国際ロータリー財団 拠出金 (W F)	合計
ホストパートナー (実施国)	バリダハラクラブ	3,000	0	1,500	4,500
インターナショナル パートナー (援助国)	沼田クラブ	3,000	0	1,500	4,500
	2840地区		19,773	19,773	39,546
合計		6,000	19,773	22,773	48,546

II. 2013-2014年度 グローバル補助金申請実績表

沼田中央ロータリークラブ グローバル補助金 (DDF申請)実績						
[事業概要]			(単位:USドル)			
申請日	事業内容			審査結果通知日		
2013.7.20	台湾の知的障害者の保護施設内にある陳綱少年家園の子供達に、基本的な教育を授け、社会に出ていくための職業訓練を行ない、将来の非行や犯罪を防止し、社会生活が営めるよう援助するサポートプロジェクト			NO. GG1410761		
				2013.8.7		
実施期間	実施国	事業総額	クラブ拠出金	DDF利用限度額	WF補助金	合計
2013.9.1~2014.8.31	台湾	52,973	13,982	16,000	22,991	52,973
[プロジェクト収入予算]						
(単位:USドル)						
	クラブ名・地区名	クラブ拠出金 (現金)	地区拠出金 (DDF)	国際ロータリー財団 拠出金 (W F)	合計	
ホストパートナー (実施国)	Taipei Lungmen,Taipei クラブ	1,000	0	500	1,500	
	Taipei Lunghwaクラブ	1,000	0	500	1,500	
	Taipei Metropolitanクラブ	1,000	0	500	1,500	
	Taipei Lungfengクラブ	1,000	0	500	1,500	
	Taipei Dragonsクラブ	1,000	0	500	1,500	
	Taipei Yichenクラブ	1,000	0	500	1,500	
	Taipei Centralクラブ	2,000	0	1,000	3,000	
	Taipei Southgateクラブ	5,982	0	2,991	8,973	
	3520地区(台湾)	0	7,000	7,000	14,000	
	3710地区(韓国)	0	4,000	4,000	8,000	
インターナショナル パートナー (援助国)	2840地区(日本)	0	4,000	4,000	8,000	
	3450地区 (香港・マカオ・モンゴル)	0	1,000	1,000	2,000	
合計	沼田中央クラブ	0	0	0	0	
		13,982	16,000	22,991	52,973	

資金管理委員会 活動報告

委員長	藤丸 兼一（伊勢崎）
委員（署名人）	伊能 富雄（伊勢崎）
委員（署名人）	北野浩司郎（沼田中央）
担当副幹事	鴻田 敦（前橋）
担当副幹事	星野 大輔（前橋）

2013-2014 年度「未来の夢計画」プロジェクトの報告書が各クラブより提出されております。現在(2014.06.25) 34プロジェクト中 33の報告書をいただいております。1件未提出となっております。3回の地区補助金審査会においてその内容を検討させていただき26件の報告書については受理、残り7件については現在再検証中です。33件中 2件 専用口座不使用（地区よりの入金のみを使用）がございました。この点は特にお気をつけ下さい。

- ① プロジェクトへの支出前に専用口座の残高を必ず申請プロジェクト総額（地区補助金＋クラブ拠出金）として下さい。プロジェクトに係わるものは必ず専用口座で入出金して下さい。
- ② 申請プロジェクトの内容（目的）と相違するものに使用しないでください。
- ③ ロータリアンに対する飲食費などには使用できません。
- ④ 申請時に記載のないものの購入はできません。
- ⑤ 業者よりの請求書等にプロジェクト以外の各クラブ使用の請求があった場合、混在記載なき様をお願いします。
- ⑥ 支払い先が多岐にわたる場合、報告書にはわかり易く添付して下さい。
- ⑦ 申請時の見積書等の金額が実行時の金額と大きな相違のなき様、申請時の見積の妥当性を確保してください。
- ⑧ 受領補助金額がプロジェクト総額になっている。
- ⑨ 2013-2014 年度の場合、請求書 領収書 等の日時が 2013 7 月以降でなければならないがそれ以前のものが数多くあった。
- ⑩ 資格認定手続き管理責任者 資金管理責任者 2 名の氏名が申請書と相違している。（退会等やむを得ない事情がない限り同一人としていただきたい）
- ⑪ ロータリアンが汗をかいた活動事例の内容が訴求力に乏しい。

各分区 地区補助金委員の皆様には何回も各クラブさんへご指導いただき大変ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

地区補助金報告書受理 26 クラブ

8 クラブ

第1分区 前橋 前橋東 前橋南 前橋中央

前橋西

第2分区A 桐生 桐生西 桐生中央

第2分区B 伊勢崎 群馬境 伊勢崎中央

伊勢崎南

第3分区 高崎 高崎南 高崎シンフォニー 高崎セントラル

高崎東

第4分区A 太田 新田 太田中央

第4分区B 館林西 館林ミレニアム

館林東

第5分区 中之条
り

渋川 沼田 沼田中央 渋川みどり

第6分区 富岡 藤岡 安中 富岡中央 藤岡南 富岡かぶら

地区補助金報告書 1度の提出で受理されたクラブ

第1分区 前橋 前橋東

第2分区A 桐生 桐生西 桐生中央

第2分区B 伊勢崎 群馬境 伊勢崎中央

第3分区 高崎 高崎セントラル

第4分区A

第4分区B 館林西 館林ミレニアム

第5分区 中之条

第6分区 富岡 安中 富岡中央 藤岡南

返金要請プロジェクト

前橋南 ¥69,900 高崎南 ¥100,350

専用口座不使用

渋川 渋川みどり

ポリオプラス委員会 活動報告

委員長	川口	修平	(高崎南)
委員	三輪	斉	(前 橋)
委員	内山	均	(前橋東)
委員	増田	浩三	(桐生中央)
担当副幹事	奥野	和義	(前 橋)
担当副幹事	石井	繁紀	(前 橋)
担当副幹事	星野	洋一	(前 橋)

当初の委員会方針に沿って活動を進めて来ました。

ポリオプラス寄付は疋田年度に続き “RID2840 End Polio Now Campaign ”
を実施し、多くのロータリアンに協力を頂きました。別表の通りです。

ポリオプラスの DVD を作成しガバナー補佐の方々にお願いして各クラブへ広報をお願いしました。

地区大会では会場にポリオプラスのブースを設けてポリオプラスの広報を行いました。

以上事業報告です。

平成 26 年 1 月 13 日、インドで最後のポリオ感染者が確認されてから 3 年間感染者ゼロを達成し、ポリオ常在国ではなくなったことが年度を通して大きな出来事でした。

牛久保財団委員長、伊能副委員長大変お世話になりました。

ガバナー補佐の方々にはポリオの広報に御協力頂き感謝申し上げます。

一年間のポリオプラス委員会を締め括るあたり係わった全ての人々に感謝を申し上げて報告とさせていただきます。

平成 26 年 6 月 26 日

RID2840 End Polio Now Campaign 報告

本田年度(2013-14) Polio Plus 寄付集計

分区	クラブ 名	寄付額
第 1 分区	前 橋	2,250.00
	前 橋 西	62.89
	前 橋 東	1,831.16
	前 橋 北	20.00
	前 橋 南	860.14
	前橋中央	670.00
第 2 分区 A	桐 生	1,180.00
	桐 生 南	0.00
	桐 生 西	542.00
	桐生中央	80.00
	桐生赤城	350.00
第 2 分区 B	伊 勢 崎	1,480.00
	群 馬 境	520.00
	伊勢崎中央	30.00
	伊勢崎 南	0.00
	伊勢崎 東	0.00
第 3 分区	高 崎	1,570.00
	高 崎 南	1,004.00
	高 崎 北	240.00
	高 崎 東	19.00
	高崎シンフォニー	0.00
	高崎セントラル	50.00

分区	クラブ	寄付額
第 4 分区 A	太 田	815.00
	太 田 西	10.00
	太 田 南	0.00
	新 田	0.00
	太田中央	230.00
第 4 分区 B	館 林	130.00
	大 泉	549.08
	館 林 西	400.00
	館 林 東	635.00
	館林ミレニアム	650.00
第 5 分区	渋 川	50.00
	沼 田	60.00
	草 津	0.00
	中 之 条	460.00
	沼田中央	770.00
	渋川みどり	20.00
第 6 分区	富 岡	30.00
	藤 岡	840.00
	安 中	40.00
	藤 岡 北	0.00
	富岡中央	0.00
	碓氷安中	0.00
	藤 岡 南	420.00
	富岡かぶら	443.65

Polio Plus 寄付合計

\$19,311.92

*地区大会での寄付は各クラブの数値に含まれ、ガバナー事務所から財団へ送金し送金明細を送りました。

職業研修チーム委員会 活動報告

委員長 豊川一男（藤岡南）

委員 山崎一順（桐 生）

委員 長柄 純（館 林）

ロータリー財団「未来の夢計画」職業研修チーム（VTT）は、研究グループ交換（GSE）の次世代プログラムとして本年度よりスタートいたしました。但し、GSE の延長ではなく、VTT は「研修を受ける」だけではなく「教える」「提供する」相互方向のプロジェクトを実施する事が出来ます。

VTT は、単年度で効果の出せるプログラムではないので、プロジェクト実施計画立案を急がずにプログラムを理解することが重要です。

「派遣・受け入れ」のノウハウの研究及び事業資金計画の研究に重点を置いた活動をしました。

1、 地区補助金委員会に参加

地区内クラブの補助金活用状況を理解することは、VTT に発展する事業を見つけることができます。

2、 グローバル補助金委員会に参加

VTT は事業内容・事業資金計画ともにグローバル補助金を活用することがプロジェクト立案に最も重要です。

3、 VTT 実施資料の収集

パイロット地区では既に多数 VTT 事業を実施しているので、事業の詳細を収集し研究する事は当地区の事業計画立案推進の基礎作りに必要です。

4、 地区内クラブに VTT の啓蒙

地区内クラブで機会のある場合（メイク等）に VTT 説明をしました。

奨学金・学友・ロータリー平和フェローシップ委員会 活動報告

委員長	中繁 基（館林西）
委員	川村 隆（桐生）
委員	大谷 祐三（太田中央）
担当副幹事	奥野 和義（前橋）
担当副幹事	石井 繁紀（前橋）
担当副幹事	星野 洋一（前橋）

ロータリー財団奨学生の募集につきましては、昨年度（疋田年度2012-13）に続き、本年度（本田年度2013-14）も募集は致しませんでした。未来の夢計画実施の初年度と云うこともありましたが、しかし今後のロータリー財団奨学生の派遣を考え研究を続けました。また学友につきましては、再度住所等の確認をし、全クラブに配布し、ロータリーとの密接な関係や学友間の交流が推進出来る様に願っていましたが、あまり実施されておられません。そして、地区大会におきましては学友をお招きし、派遣時における海外での活動や、今日の活動について3名の学友から写真発表し、展示を行い、広く地区内ロータリアンにPRを致しました。見て頂いたメンバーには御理解を深めて頂いたと思っております。

ロータリー平和フェローシップにつきましては、当地区で実施経験はありませんが、研究を継続することと致しました。

記

2013年	5月12日	地区協議会 委員会方針発表	前橋商工会議所
	7月20日	ロータリー財団委員長会議 財団セミナー打合せ	前橋商工会議所
8月	3日	地区財団セミナー 委員会活動内容説明	伊勢崎プリオパレス
	9月26日	委員会 地区大会準備打合せ	本田ガバナー事務所
	10月17日	奥野副幹事、事務局（入山）打合せ 地区大会準備細部打合せ	本田ガバナー事務所
	10月27日	地区大会 学友活動写真展示 3名参加	前橋ベニア文化ホール

会員組織強化委員会 活動報告

委員長	牛久保哲男（伊勢崎）
副委員長	安藤震太郎（高崎北）
副委員長	板垣 忍（前 橋）
委員	北爪 國平（前橋中央）
委員	星野 榮助（桐生赤城）
委員	久保 勲（伊勢崎中央）
委員	浅田 千秋（高 崎 北）
委員	五十嵐敏明（太 田 西）
委員	大越 正禎（館 林 西）
委員	町田 久（渋 川）
委員	荻野 勝美（富 岡）
担当副幹事	鴻田 敦（前 橋）

年度初 1 8 7 5 名でスタートしましたが 6 月末で 1 9 1 6 名になり 4 1 名の純増が出来ました。

この 4 1 名の純増は大変な快挙であり、本田ガバナーをはじめ各ガバナー補佐の皆さんの努力の結果であると思います。

日本のロータリーアンの減少が続く中で 2 8 4 0 地区も同様の傾向がみられておりました。

このような状況の中で、多くのロータリーアンが「会員増強なくしてロータリーの未来はない」との認識を強く持って、増強活動を強化した結果だと思えます。特に各クラブの会長、幹事、そして会員増強委員長の皆さんは、それに真剣に取り組んだことと思います。また、地区としても戦略計画を立てて 3 年間で 2 0 0 0 名にするという目標を明確にしたことも会員の皆さんに共感を得たのかもしれない。

いずれにしても、この 4 1 名の純増は 2 8 4 0 地区の失われた 1 0 数年の暗雲に大きな光が見えてきたような気がいたします。今後も各クラブの会員増強活動を引き続き強化されることを願い、1 年間の活動に感謝申し上げます。

公共イメージ（オンツー・シドニー）委員会 活動報告

委員長	佐藤	修（高崎南）
副委員長	永井	勇（渋川）
委員	橘田	博（前橋南）
委員	酒井	豊（桐生中央）
委員	関井	宏一（館林）
担当副幹事	奥野	和義（前橋）

ロータリー戦略計画の目標の一つは、「公共イメージの向上」です。この目標達成に向けて、ロータリーの一貫したイメージやメッセージを伝えることが大切です。ロータリーに対する一般の人々の認識を高める広報活動を企画、実施してきました。各クラブと連携してより効果的な広報活動を目指して活動してきました。関係各位にご協力に感謝し、報告します。

事業報告

1. 各クラブにお願いして「ロータリーの友」を会員数より5部多く取ってもらい、役所や病院、学校などに配布した。また、地区で作成したパンフレットとポスターを地区大会で配布した。
2. ロータリー財団「未来の夢計画」や震災支援などの各クラブの活動を地区のウェブサイトや新聞紙面を活用して、広く一般に紹介して、出来る限り多くの人にメッセージとして伝えた。ロータリー創立記念日には上毛新聞に活動紹介の広告を掲載した。
3. 新しい広報活動のあり方を探るための活動として、新聞やタウン誌、FMの企画担当との交流を持った。
4. オンツーシドニーとして、国際大会（2014. 5. 30～6. 4）への参加者を募り、有意義な大会参加を企画、実施した。地区参加コース22名、クラブ別での参加も多数あった。

青少年交換委員会活動報告

委員長	前原信之（太田中央）
委員	新井 聡（前橋西）
委員	堀 明（桐 生）
委員	吉野矩久（高崎東）
委員	横山正男（高崎シフォニー）
委員	関根俊夫（安 中）
委員	福田朋英（渋 川）
委員	津久井功（沼 田）
委員	小林京子（富 岡）
担当副幹事	星野洋一（前 橋）

今年度は、別紙資料のとおり 3 名の短期プログラムと、5 名の一年交換プログラムの派遣、受入を実施致しました。一年受入学生のうち 1 名が止むを得ぬ事情により早期帰国となりましたが、ホストクラブ、ホストファミリーの皆様を支えられ、大きく成長し修了を迎えた学生の姿を見ますと、改めて青少年交換事業の意義深さを実感致します。

当委員会では、年度当初から壮行会、歓送迎会、帰朝報告会とオリエンテーション等の開催や、ホストクラブ・派遣先地区との連携等、慌ただしく活動致しました。これらの行事には、多種多様且つ煩雑な資料等の整備・提供が伴い、さらには次年度の派遣学生選考も併せて進めなくてはならず、委員会は絶え間なく動いており、地区委員会として十分なクラブ支援が行き届かないことがあったとは思いますが、どうぞご容赦くださいますようお願いいたします。

短期プログラムが 8 月に修了した後も、一年交換プログラムは息つく間もなく、地区大会へのブース出店や、クリスマスパーティ、長野、東京、京都への旅行、そして東北でのボランティア活動等の経験をしてもらいました。これらを通じて彼らは日本の文化や習慣やを学び、理解を深めてくれました。このような事業は委員の皆様のご尽力はもちろんです、ROTEX の協力・活躍が大きな力となった事も申し添えます。

今後も、すでに 2014－15 年度の短期交換プログラムが始まっておりますが、青少年交換プログラムに益々のご理解を賜りまして、より一層のご指導とご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

ホストクラブ、ファミリー、ROTEX、そして青少年交換委員会の皆様、このプログラムに関わっていただいた全ての方へ心より感謝申し上げます。

青少年交換委員会 活動報告

2013～2014 年度

夏期交換(派遣) 2013 年 7 月 23 日～2014 年 8 月 23 日



岡部 れな
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
スポンサークラブ：伊勢崎東 RC
派遣先：オレゴン D5100



三浦 堇
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
スポンサークラブ：新田 RC
派遣先：ウィスコンシン D6220/6270



高坂 栞
前橋女子高等学校
スポンサークラブ：前橋西 RC
派遣先：オレゴン D5100

2013～2014 年度

夏期交換(受入) 2013 年 6 月 23 日～2014 年 7 月 23 日



Dreifuerst Derrick
ホストクラブ：新田 RC
派遣国：ウィスコンシン D6220/6270



MEYROVICH Noah Alexander
ホストクラブ：前橋西 RC
派遣国：オレゴン D5100



James Hsu
ホストクラブ：伊勢崎東 RC
派遣国：オレゴン D5100

2013～2014 年度

1 年交換(派遣) 2013 年 8 月 20 日～2014 年 7 月 20 日



浦野 真風
樹徳高等学校
スポンサークラブ：伊勢崎 RC
派遣先：ネブラスカ D5650



山田 悠介
共愛学園高等学校
スポンサークラブ：渋川 RC
派遣先：ミネソタ D5950/5960



萩野谷 美岬
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
スポンサークラブ：伊勢崎 RC
派遣先：オレゴン D5100



矢部 崇人
樹徳高等学校
スポンサークラブ：桐生南 RC
派遣先：ネブラスカ D5790



諸星 奈々
新島学園高等学校
スポンサークラブ：安中 RC
派遣先：ニューヨーク D7170

2013～2014 年度

1 年交換(受入) 2013 年 8 月 20 日～2014 年 7 月 20 日



Melaney Joycelyn Peacock
ホストクラブ：安中 RC
派遣国：ニューヨーク D7170



Connor Mitchell Dodds Balfany
ホストクラブ：渋川 RC
派遣国：ミネソタ D5950/5960



Benjamin David FEIL
ホストクラブ：伊勢崎 RC
派遣国：オレゴン D5100



Skyler Christian MEYER
ホストクラブ：伊勢崎 RC
派遣国：ネブラスカ D5650

2014～2015 年度

夏期交換(派遣) 2014 年 7 月 ～2014 年 8 月



柴崎 はるな
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
スポンサークラブ：桐生 RC
派遣先：ウィスコンシン D6250



石倉 妃菜
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
スポンサークラブ：太田中央 RC
派遣先：オレゴン D5100



佐々木 真帆
明照学園 樹徳高等学校
スポンサークラブ：桐生南 RC
派遣先：カンザス D5710

2014～2015 年度

夏期交換(受入) 2014 年 7 月 ～2014 年 8 月



Elizabeth Marie Brunelle
ホストクラブ：桐生 RC
派遣元： ウィスコンシン D6250



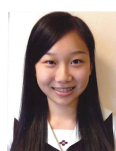
Mckenzie Leigh Baker
ホストクラブ：太田中央 RC
派遣元： オレゴン D5100



Emily Helen Brozow
ホストクラブ：桐生南 RC
派遣元：オレゴン D5100

2014～2015 年度

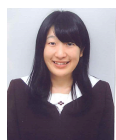
1 年交換(派遣) 2014 年 8 月 ～2015 年 8 月



今井 和
共愛学園高等学校
スポンサークラブ：前橋西 RC
派遣先：オレゴン D5100



村上 采
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
スポンサークラブ：伊勢崎 RC
派遣先：ミネソタ D5450/D5960



山川 裕未
共愛学園高等学校
スポンサークラブ：前橋東 RC
派遣先：ネブラスカ D5650

2014～2015 年度

1 年交換(受入) 2014 年 8 月 ～2015 年 8 月



Clara Anne ROBERTSON
ホストクラブ：前橋西 RC
派遣元： オレゴン D5100



Grace Erin MEYER
ホストクラブ：伊勢崎 RC
派遣元：ミネソタ D5960



Quinn Thomas BROWN
ホストクラブ：前橋東 RC
派遣元：ミズーリ D6060

インターアクト委員会 活動報告

委員長：高井 和雄（高崎南）
委員：天野 純一（沼 田）
委員：田島 龍一（安 中）
担当地区副幹事：小林 幹昌（前 橋）

◎ インターアクト・顧問教師・ロータリアン合同会議

日 時 2013 年 7 月 6 日（土） 11:30～16:00

場 所 高崎商科大学

参加者 インターアクター 14 校 31 名 顧問教師 14 校 22 名
ロータリアン 15 クラブ 22 名 地区役員・委員 5 名
高崎南 RC 10 名 学校・大学関係者 32 名 計 122 名

内 容 （１）開会行事～ガバナー挨拶
（２）各校インターアクトクラブ現況報告
（３）グループ討論会



◎ インターアクト年次大会

日 時 2013 年 7 月 27 日（土） 8:45～15:20

場 所 高崎商科大学

参加者 インターアクター 16 校 140 名 顧問教師 16 校 25 名
来賓・講師 7 名 ロータリアン 34 名 ロータクト 4 名
地区役員・委員 12 名 高崎南 RC 20 名 大学職員 15 名
計 257 名

大会テーマ『Bridge to hope～希望への架け橋～』

内 容 （１）開会行事～ガバナー式辞、来賓祝辞
（２）基調講演「懸命に生きる人々～日本人にこそ学んで欲しい～」
一般社団法人アジア支援機構 代表理事 池間 哲郎様
（３）分科会（４分科会）



◎ インターアクト国際交流事業（RI2560 地区との合同事業）

（１）台湾研修

- 日 時：2014 年 3 月 20 日（木）～23 日（日）
- 訪問先：台湾新北市清傳高級商業学校
- 参加者：群馬 26 名（生徒 21 名 ロータリアン 3 名 顧問教師 2 名）
新潟 10 名（生徒 7 名 ロータリアン 3 名） 参加者合計 36 名
- 目 的：21 世紀の若者を育成するため、国際交流事業を通して、若者に異文化に対する受容性を養う。
- 内 容：インターアクターの 1 泊ホームステイを含んだ交流

◎ 台湾高校生受入れ（今年度は RI2840 地区が担当）

- 日 時：2014 年 4 月 25 日（金）～26 日（土）
- 来県者数：台湾清傳高校生徒 17 名、三重高校生徒 9 名、学校関係者 6 名 計 32 名
三重中央ロータリアンとご家族 27 名 合 計 59 名
- 内 容：高崎商科大学附属高等学校において、歓迎交流事業を行う。
生徒は台湾研修参加者 5 名と商科大学附属高等学校生徒宅にてホームステイ受入れを行う。
- さよならパーティーの開催
参加者は 3 月に台湾研修に参加した群馬県、新潟県の生徒、ロータリアン、顧問教師、ホームステイ受け入れ先の生徒、家族、学校関係者、ガバナーはじめ地区役員、ロータリアン、来日した台湾の生徒、学校関係者、ロータリアンとご家族 合計 158 名の参加者

ローターアクト委員会 活動報告

委員長 井上 智太 (高崎北)
委 員 富岡 直博 (藤 岡)
委 員 宇井 正典 (前 橋)
委 員 関 徹也 (伊勢崎)

今年度は、地区ターゲットに「ONE LOVE ONE HEART～すべてはきっとうまくいく～」を掲げ、「地区がクラブに対してできること」を考え、クラブの活動企画力の下地作りをするために LOVE ACTION と題し、地区行事ホストの機会を設けました。今年度行いました地区行事は以下の通りです。

- ① LOVE ACTION 第1弾「伊勢崎の町まで行ってクリーン♪」は、平成25年11月9日(土)に伊勢崎 RAC をホストとし35名の参加で行われました。午前中は、伊勢崎市本町周辺のゴミ拾い、午後にはその場所にある観光スポット6箇所をめぐるウォークラリーを行いました。
- ② LOVE ACTION 第2弾「手話を識ろう～もっと身近に～」は、平成25年12月8日(日)に太田 RAC をホストとし56名の参加で行われました。聾講師・手話通訳者の方をお招きし、前半は「詩聴覚障害者とは?手話とは?」の講義・簡単な手話のレクチャー、後半に手話を使用したレクリエーションを行いました。
- ③ LOVE ACTION 第3弾「ローターアクトと行く絹の旅2014」は、平成26年5月11日(日)伊勢崎・富岡・藤岡 RAC の3クラブ合同で31名の参加で行われました。バスで田島弥平旧宅⇒高山社跡⇒富岡製糸場を巡り、絹産業の発展について学びました。「会員増強」をテーマに掲げ、多くのオブザーバーへの参加を呼びかけアクトを知ってもらうきっかけと致しました。
- ④ 第14回地区年次大会は「attRACtive!!～魅力発信～」を地区ターゲットに平成26年4月13日(日)太田ナウリゾートホテルで211名の参加で行われました。本大会を開催するにあたり、本田ガバナーをはじめ、大会ホストロータリークラブである太田 RC、地区内ロータリークラブの皆様の多大なるご支援、ご協力を頂戴し開催に至りました。
- ⑤ 第14回地区指導者研修会は「私がリーダーになるために」をテーマに掲げ、平成26年6月22日(日)プリオパレス伊勢崎で27名の参加で行われました。プログラム内容は、群馬県立女子大学教授熊倉浩靖様による「世界史の中の群馬」と題しての基調講演、ローターアクトについてのグループディスカッション、次年度に向けた次年度地区役員、クラブ会長の決意表明を行いました。
- ⑥ 第14回アジア第1ゾーン代表者会議が第2560地区(新潟)をホストとして平成25年9月15日(日)開催されました。第1ゾーンに所属する各地区の地区代表、地区幹事、地区 RAC 委員長が集まり地区間の連携強化、情報交換を目的に行いました。2840地区は2015～2016年度の第1ゾーン会議ホスト地区となっております。
- ⑦ 第26回全国ローターアクト研修会が第2750地区(東京北部・沖縄)をホストとして平成26年3月15日(土)・16日(日)の2日間開催されました。日本国内のロータリアン、ローターアクトが集い、「日本のリーダー」という大会テーマのもと、全国で活躍する地区のローターアクトによる講演・ワークショップを行いました。

RYLA委員会 活動報告

委員長 中村 研司（館 林）
委員 浜辺 宣昭（高崎セントラル）
委員 千吉良勝美（伊勢崎中央）
担当副幹事 小林 幹昌（前 橋）

「2013－2014 年度第 13 回 RYLA（通算 33 回）RYLA 研修会」は、テーマを「希望を語ろう！」、サブテーマを「水の問題から見えてくる、日本の事・世界の事」とさせていただきます。2013 年 11 月 3 日(日)・4 日(月・祝)の二日間で館林市赤羽公民館を主会場に、曹洞宗普濟寺にて「坐禅」並びに「写経」を行い、つつじが岡パークインを宿泊施設として開催させていただきました。ご参加いただきました皆様方、本田博己ガバナー並びに大勢の地区役員の皆様方に感謝申し上げます。

今回の RYLA 研修会を開催するに当たりまず決めたのが、「水」を主題とする事でした。館林市は多くの市民が小さい頃から水に親しみ、総合計画でも「水と緑と人が輝く共創都市たてばやし」と定められております。講師をお願い致しました＜水ジャーナリスト／アクア・コミュニケーター＞アクアスフィア代表橋本淳司先生は、他団体で以前から一緒に活動させていただいておりました事も有り、快く講師をお引受け頂きました。先生は今回の RYLA 研修会後も、全国各地の自治体主催の講演会や大学での講義等で益々精力的にご活躍なされております。

本田ガバナーをはじめ、地区役員様にご出席いただきました「開講式」の段階では、まだまだ参加者は緊張の面持ちでありました。しかし、昼食後の「ウェルカムゲーム」のお陰ですっかり皆さん打ち解け、笑顔も多く見られるようになりました。そして、「基調講演・ワークショップ」が始まると意欲的に研修に臨まれておりました。今回の研修のゴールは、「小学 5 年生(10 歳)向けに 5 分間で水問題を伝えること」でした。スキル面では、ダイアログを活用して合意形成する技術、わかりやすく伝える技術を学びました。二日間の研修の後には、テーマを良く学び、今回習得したスキルを駆使しながら、各グループが素晴らしいグループ発表を行いました。

また、今回の研修会では、館林ロータリークラブの堀口会員のご自坊である曹洞宗普濟寺さんの道場をお借りして、「坐禅」並びに「写経」も実施致しました。米山奨学研修生は勿論の事、多くの参加者が初めての体験という事も有り、真剣に取り組んでおられました。皆様方からとても好評を得られた特別企画となりました。

RYLA 委員会は 3 年委員会という事で、太田ロータリークラブさんの RYLA 研修会から今までとは違う意識で研修会に参加させていただきました。33 回継続されてきた事業だけの事は有り、地区にとっても重要な事業であると改めて感じられました。今後も継続して、多くの若者達の良き研修機会を創出することを望み、年間活動報告(総括)とさせていただきます。

国際奉仕委員会 活動報告

委員長 宮下 隆志（前橋中央）

担当副幹事 石井 繁紀（前 橋）

RI 会長ロン・D・バートンは「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」と提唱しました。

世界をより良くする活動にロータリアンが自ら参加し、ロータリーの奉仕を形だけの努力ではなく実践する事により人々の人生を豊かにする。真のロータリアンになれるか選択しなさいと強いメッセージを投げかけた。

地区スローガンは「希望を語ろう！」ロータリーに積極的に参加し、自分を含めみんなの生活や生き方、人生を変えよう。本田ガバナーの熱い情熱が語られた。

国際奉仕は、国際プロジェクトとして災害救援や復興、ロータリー友情交換（RFE）同じ趣味や関心毎、職業を持つ世界ネットワーク活動グループ（GNG）世界社会奉仕プロジェクト（WCS）に積極的に参加し情報を収集し研究をしました。

新世代委員会のインターアクト、RYLA、青少年交換委員会、及び米山委員会、財団委員会との連携を図り若い世代の国際奉仕の意識高揚を図ってまいりました。

そして、3月27日 WHO は、インドを含む11の国からなり東南アジア地域において正式にポリオが撲滅した宣言にはロータリアンの辛抱強く地道な努力が実を結んだ待ちに待った嬉しい朗報でありました。

個人的には、自クラブが台湾の台中市の潭子 RC との姉妹 RC 締結や創立20周年、福島の子どもたちへの支援事業等々忙しく充実出来ました。

1年間を通じ、本田ガバナー、板垣地区幹事をはじめスタッフ、関係各位には大変にお世話になりました。

米山記念奨学委員会 活動報告

委員長	田中 久夫 (高 崎)
委員	馬場 誠 (前橋東)
委員	大友 一之 (桐生)
委員	神宮 嘉一 (高 崎)
委員	木暮 高史 (館 林)
委員	板倉 正和 (渋 川)
委員	水石 清治 (沼 田)
委員	齋藤 勝也 (富岡かぶら)
担当副幹事	星野 大輔 (前 橋)

米山記念奨学委員会の活動はロータリー年度とは異なり、4月から始まり3月で終了する通常の学事歴です。

最初の行事は、2013年4月に行われたカウンセラーセミナーでした。このセミナーは、米山奨学生を1年間または2年間預かっていただく世話クラブのロータリアンと新規奨学生を集め、その顔合わせと今後の対応についての説明会です。お互い初対面のため、緊張のなかセミナーは進められていきますが、カウンセラーの方々の日頃のロータリー精神の発揮により終盤には皆打ち解けた雰囲気になっていきます。

8月には、指定校説明会が開催されました。これは、当委員会が選考した2840地区内において指定校となった大学の関係者を集め、米山奨学事業の説明を行ないます。我々がどのような奨学生を求めているのかを理解していただき、予め各大学に定員枠を与え、その範囲内にて優秀な留学生の推薦をお願いします。

9月には、米山記念奨学セミナーが開かれました。2840地区内の全クラブの会長、幹事、米山担当者等を集め、当奨学事業の詳細を説明し、寄付金のお願いと次年度の世話クラブへの立候補をお願いしました。

10月の地区大会では、米山委員会で一つのブースを作り、奨学生達が自国の民族衣装を着て盛り上げてくれました。民族音楽を流し、ロータリアンと記念写真を撮って、寄付を募りました。寄付金は1日で151,802円集まりました。

年が開けて2014年1月には、いよいよ4月からの新規米山奨学生を選考する大事な選考会（面接）が行われました。面接担当者には、前年末に面接を担当する留学生の資料、小論文が渡され、約1か月かけて事前の検討を行ないます。面接当日は面接担当者による採点基準等の確認を行い、全部で3グループに分かれ、1グループ10名前後の面接を行ないます。留学生達も緊張していますが、こちらは大変気を使う1日です。

2月には、3月に奨学生期間の終了する奨学生達の終了式が行なわれます。ただ、今年は大雪により中止となりました。終了証と記念品は後日お送りしました。

この行事以外にも、奨学生のOB・OGにより組織された学友会が主催する学友会総会（6月）、忘年会（12月）がありました。

また、米山委員相互においても自費により2回の懇親会、1回のゴルフコンペを実施して親睦を図りました。この委員会を卒業した後も友情を継続でき、また次に会うことを楽しみにしたいと思える大変有意義な1年でした。

最後に1年お付き合いいただいた高木貞一郎（館林）米山記念奨学会常務理事、安藤新太郎（高崎北）同評議員、馬場 誠（前橋東）地区米山記念奨学委員、大友一之（桐生）同委員、神宮嘉一（高崎）同委員、小暮高史（館林）同委員、板倉正和（渋川）同委員、水石清治（沼田）同委員、齋藤勝也（富岡かぶら）同委員、星野大輔（前橋）担当地区副幹事、入山こず江ガバナー事務局員の皆様には大変感謝申し上げます。